

## 中学生の「税についての作文」

福岡県筑後県税事務所長賞

### 税がある意味

大川市立大川桐英中学校

三年 馬場 平 幸

私は税のしくみや使われ方について調べ、考えました。

今から、税について話します。税は公共サービスや公共施設などを提供するために必要な費用をみんなで出し合って負担しています。私たちが納めた税金は、国民の「健康で豊かな生活」を実現するために国や地方公共団体が行う活動の財源となっています。もし、税金がなかったら救急車や医療費、ごみ収集や交番が有料になってしまいます。また、税には様々な種類があります。商品の販売やサービスの提供に対してかかる税金を消費税・地方消費税、個人の所得（収入から経費などを引いたもの）に対してかかる税金を所得税といいます。まだまだたくさん種類がありますが、これらの税金は全部国のために納めています。

私たちが学校で使っている教科書も税金で賄われています。公立学校の児童・生徒一人当たりの年間教育費の負担額は、小学生約は八八万二千元、中学生約一〇五万二千元、高校生（全日制）約一〇〇万円という数字が出されています。これは全部、税金で賄われています。

税は他にも違ふところで使われています。例えば、新しい

研究や開発です。将来、私たちの生活の役に立つように、宇宙開発や科学技術の研究が行われており、そこにも税金が使われています。

税金は日本国内だけでなく世界でも役に立っています。まずしさや食料不足などで困っている人や国を守るため、お金を貸してあげるだけでなく、ダムや道路、病院をつくったり、病院で使う薬や注射器などを送ったりしています。このような活動を「政府開発援助ODA」といい、私たちが納めた税金が使われています。

このように、税金は、私たちだけではなく日本や世界などでさまざまな役に立っています。私は今まで「なぜ自分で働いたお金を納めなければいけないの」と思っていました。せっかく頑張って働いたお金は、自分で使いたいと思っていました。でも今回、税について調べて、いろいろなことに役立っており、たくさんの人を助けているということがわかり、税は大切なのだと思いました。税を納めなかったら、私たちの生活が大変になるといこともわかり、最初の考えを改めました。これから、自分たちも快適に暮らし、世界の人々も健康に元気に楽しく生きていけるように私は仕事をするようになったらしっかりと税金を納めていきたいと思えました。

